

Mizuho Daily Market Report

2024/1/3

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	141.53	141.99	+1.10	▲0.41
EUR	1.1019	1.0942	▲0.0103	▲0.0100
AUD	0.6820	0.6761	▲0.0052	▲0.0064
SGD	1.3225	1.3256	+0.0053	+0.0022
CNY	7.1315	7.1432	+0.0432	+0.0005
MYR	4.5995	4.6058	+0.0118	▲0.0330
THB	34.22	34.14	+0.00	▲0.44
IDR	15470	15470	+73	▲13
PHP	55.66	55.66	+0.27	+0.26
INR	83.35	83.32	+0.08	+0.12
VND	24316	24335	+68	+26

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.929%	+5.0 bp	+3.3 bp
日本(10年)	0.614%	+0.0 bp	▲2.1 bp
ユーロ圏(10年)	2.068%	+4.4 bp	+8.9 bp
オーストラリア(5年)	3.668%	+3.2 bp	▲2.6 bp
シンガポール(5年)	2.744%	+6.7 bp	+2.8 bp
中国(5年)	2.432%	+3.8 bp	+4.3 bp
マレーシア(5年)	3.583%	+1.2 bp	+1.0 bp
タイ(5年)	2.491%	+2.4 bp	+1.9 bp
インドネシア(5年)	6.469%	+2.5 bp	▲1.1 bp
フィリピン(5年)	5.881%	+7.2 bp	+11.6 bp
インド(5年)	7.139%	+0.1 bp	▲1.0 bp
ベトナム(5年)	1.750%	+0.0 bp	+0.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	37,715.04	+0.1%	+0.5%
N225(日本)	33,464.17	+0.0%	+0.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,512.81	▲0.2%	▲0.2%
ASX(オーストラリア)	4,220.90	▲0.3%	+0.2%
FTSTI(シンガポール)	3,229.95	▲0.3%	+2.9%
SSEC(中国)	2,962.28	▲0.4%	+2.2%
KLSE(マレーシア)	71,892.48	▲0.5%	+0.8%
SETI(タイ)	7,323.59	+0.7%	+1.2%
JKSE(インドネシア)	1,453.10	▲0.1%	+0.2%
PSE(フィリピン)	6,554.04	+1.6%	+0.8%
SENSEX(インド)	1,433.38	+1.2%	+1.4%
VNINDEX(ベトナム)	1,131.72	+0.2%	+0.8%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	262.63	▲0.5%	▲2.2%
金	2,058.96	▲0.2%	▲0.4%
原油(WTI)	70.38	▲1.8%	▲6.9%
銅	8,463.92	+0.0%	▲0.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	140.50	—	143.00
EUR/USD	1.0890	—	1.1200
AUD/USD	0.6680	—	0.6920
USD/SGD	1.3150	—	1.3300
USD/CNY	7.0950	—	7.1500
USD/INR	4.5800	—	4.6220
USD/THB	33.60	—	36.20
USD/IDR	15350	—	15680
USD/PHP	55.20	—	56.30
USD/VND	82.95	—	84.10
USD/VND	24,100	—	24,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は141円台前半でオープン。年初且つ東京休日につき市場参加者も少ない中、特段新たなヘッドラインも無く閑散としたマーケット。先物の米金利が上昇したことに加え、昨日本邦で発生した地震の影響が注視される中、1月の日銀政策変更期待の後退に繋がってか、円売りが優勢となると午前中に141円台半ばを回復。その後はもみ合い、141円半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は大方が下落。韓国ウォンが1.1%安と下げを主導した。

海外市場のドル円は142円台前半でNYオープン。NY午前中に発表された米12月S&Pグローバル米国製造業PMI(確報値)が下方修正されたことや、米金利が低下する動きが相まって、141円台半ばまで反落する。しかし、その後は下げ渋り、再び141円台後半まで戻す。NY後は注目材料が見当たらない中、142円手前での上値重い展開が続き、141円台後半でクローズした。

【金利】

金利市場は、マーケット参加者がまだ完全に戻らず、流動性の低いなか中期を中心に上昇し、金利カーブはややフラット化した。本日発表の経済指標は予想を下回る弱めの結果となったが、今週は雇用、景況感指数といった重要指標発表が控えていることで、その影響は限定的となった。継続的な金利低下傾向は、先週にいったん底を打ち、上昇に転じている。

【予想】

本日のドル円は緩やかに円安が進む展開を予想。本邦で発生した地震の影響などもあり、日銀の金融政策変更時期に関する期待値が低下していることもあり、再びじわり円安地合いとなる可能性には留意が必要となりそうだ。

【本日の予定】

(日本) 休場
(アジア) 12月 インド PMI製造業
(アジア) 12月 シンガポール 購買部景気指数 / 電子産業指数
(欧州) 11月 愛 鋳工業生産
(欧州) 12月 愛 登録失業者数
(欧州) 12月 独 失業者数 / 失業保険申請率
(欧州) 12月 西 失業者数変化
(米国) 11月 JOLT求人
(米国) 12月 ISM製造業景況指数
(米国) 12月 7-ス自動車販売台数合計
(米国) FOMC議事録
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ハーキン・リッチモンド 連銀総裁講演

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。